

# アンケート結果

食道外科専門医認定、準認定施設  
送付施設162施設  
回答126施設  
回答率78%

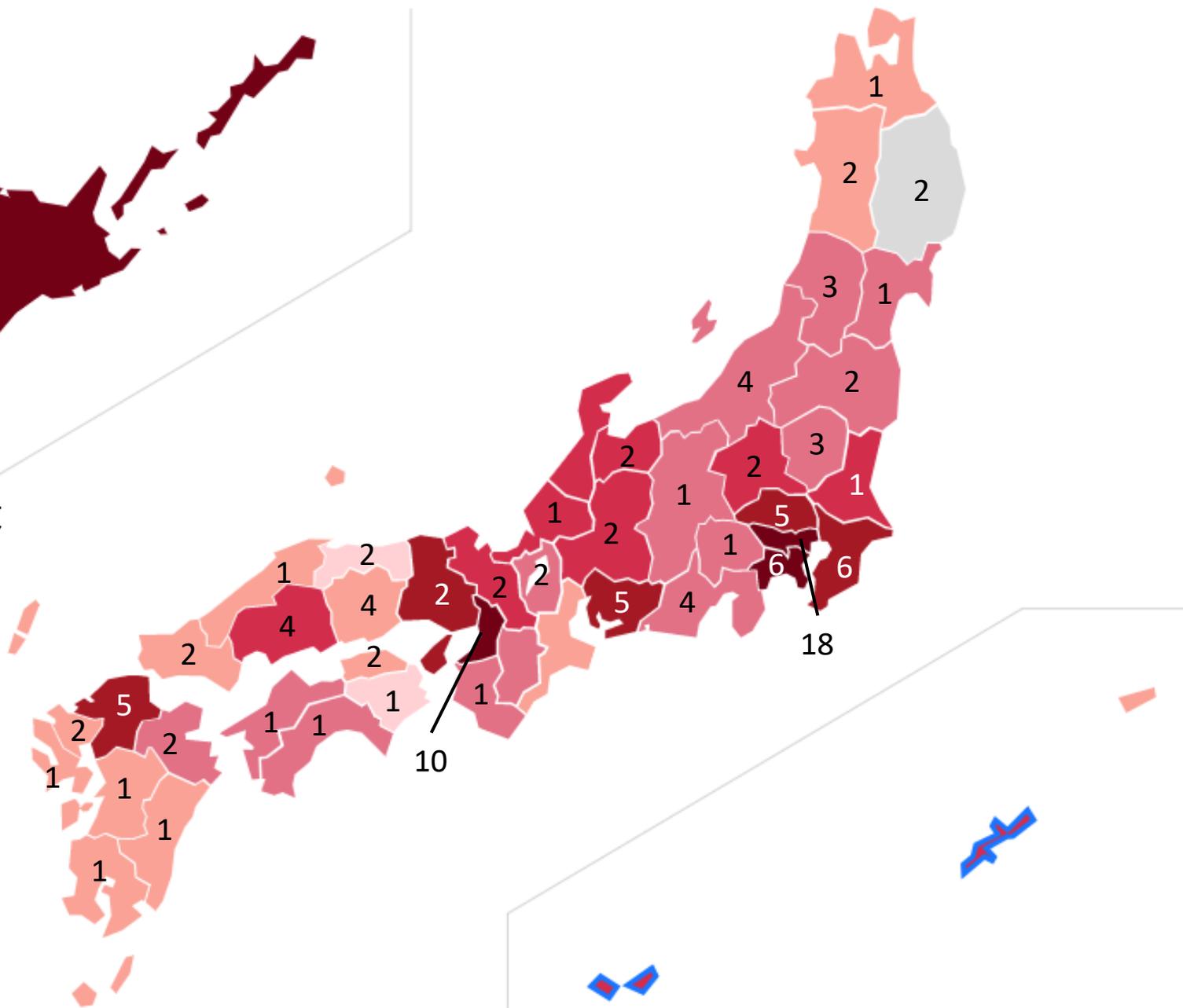
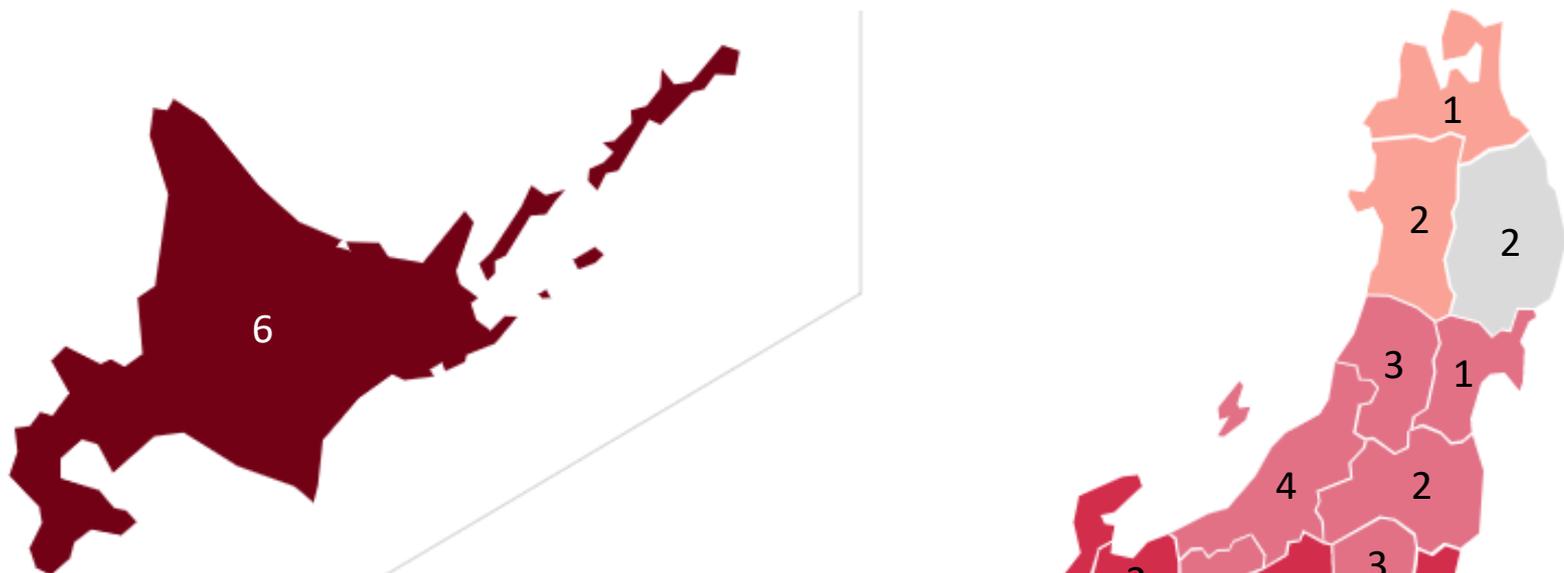
国立、大学病院:79施設  
自治体病院:26施設  
公的病院:14施設  
民間法人:7施設

回答期間:2020年4月28日～5月19日

126施設における年間食道癌手術件数(概数):4564件  
2017年本邦における食道切除手術6041件 – NCDより  
(<https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1002/ags3.12258>)

# 都道府県別回答施設数

COVID-19累計感染者数  
(5月23日現在)



# COVID-19患者対応施設

126施設

対応していない  
26施設

重症(レスピレーター)

重症	68施設
中等症	67施設
軽症	69施設

16

16

0

36

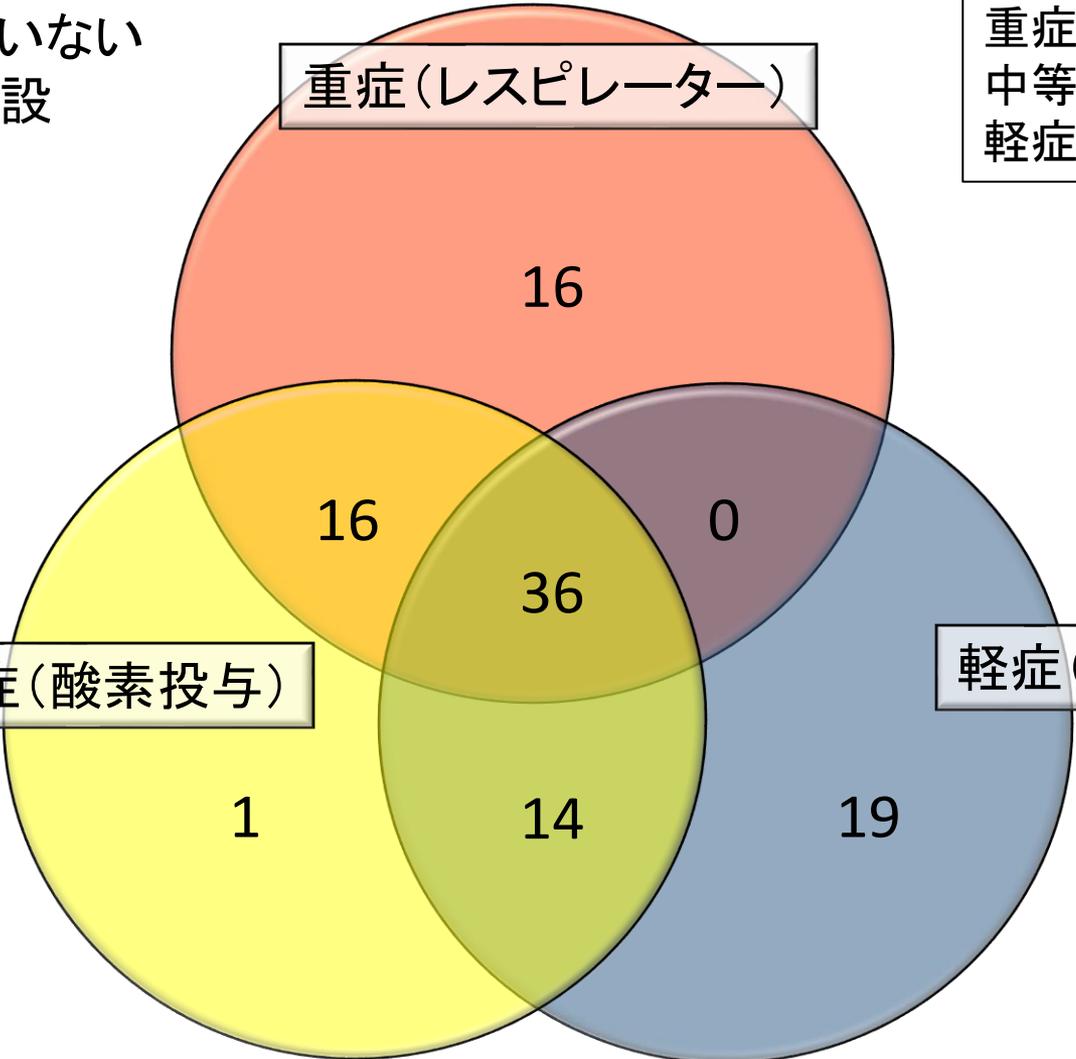
中等症(酸素投与)

軽症(発熱)

1

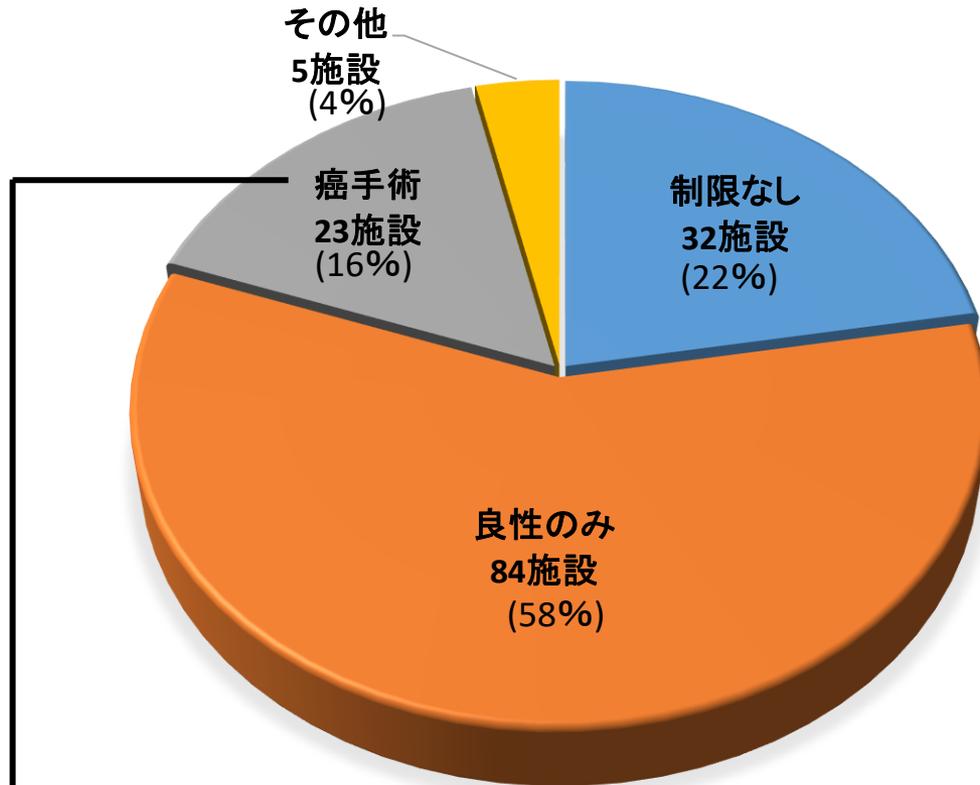
14

19





# 手術制限



うち、食道癌手術の制限  
あり: 19施設(全体の15%)

## 食道癌手術制限割合

20%未満	3
20-30%	5
30-50%	3
50-80%	4
80%以上	3



# 食道癌手術制限の理由

食道癌手術制限施設: 19施設(複数回答)

手術制限の理由



■ 手術枠 ■ ICU ■ 院内感染 ■ 看護師 ■ 防護具 ■ 病棟閉鎖

# 食道癌手術枠制限に対する対策

---

手術の延期(概ね2週間以上)	9
他院への紹介	6
術前化学療法回数を追加	4
手術先行を術前補助療法に変更	3
根治的化学放射線療法に変更	2
内視鏡切除に変更	0
姑息的治療(根治を諦める)	0

---

## 食道癌治療の変化

呼吸・嚥下機能評価及びリハビリの中止(制限)

スパイロの中止

二期手術(high risk、時間短縮)、郭清を手控える

N95で麻酔

## 2020年3月4月に実施された食道癌手術数

126施設の例年実績4564例に対し、2020年の3月、4月で773件(16.9%)が実施されていた。ほぼ例年と変わりなしであった

都道府県	例年手術数 (概数)	3月+4月 の実績	3月+4月 の割合
北海道	100	23	23
青森	25	5	20
岩手	38	3	7.89
宮城	75	12	16
秋田	45	6	13.33
山形	50	5	10
福島	62	15	24.19
茨城	30	2	6.67
栃木	110	16	14.55
群馬	50	13	26
埼玉	200	38	19
千葉	280	48	17.14
東京	891	156	17.51
神奈川	237	37	15.61
新潟	111	18	16.22
富山	50	9	18
福井	10	1	10
山梨	30	2	6.67
長野	25	3	12
岐阜	53	11	20.75
静岡	171	36	21.05
愛知	265	41	15.47

滋賀	44	6	13.64
京都	100	17	17
大阪	517	93	17.99
兵庫	83	14	16.87
和歌山	50	6	12
鳥取	20	6	30
島根	15	0	0
岡山	171	29	16.96
広島	104	17	16.35
山口	32	7	21.88
徳島	30	6	20
香川	32	2	6.25
愛媛	10	0	0
高知	23	4	17.39
福岡	160	28	17.5
佐賀	47	2	4.26
長崎	20	5	25
熊本	75	10	13.33
大分	40	7	17.5
宮崎	33	6	18.18
鹿児島	50	8	16
合計	4564	773	16.93

感染遷延地域以外でも、手術は減少傾向にある

感染遷延地域の中では、神奈川、愛知で減少傾向にある

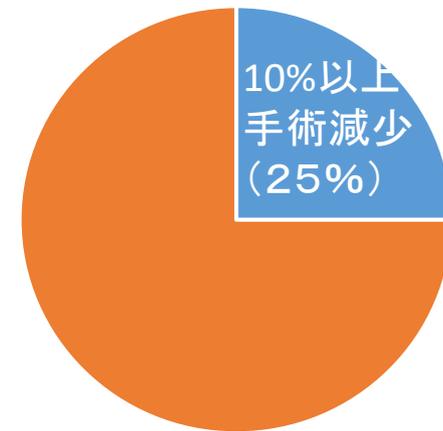
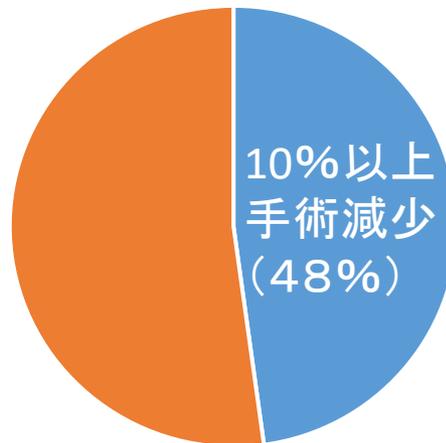
感染遷延地域(大都市圏)
 
 例年比5%以上減少

# High volume center(年間50例以上)31施設

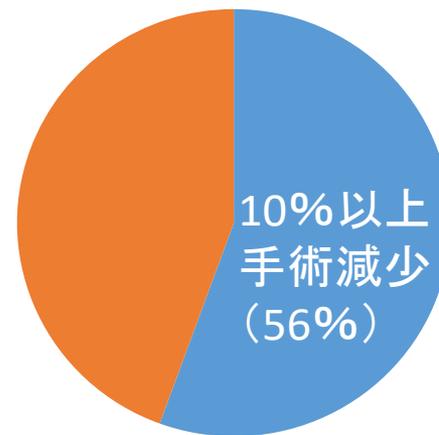
分類	病床	都道府県	例年手術	34月実績	割合	コロナ対応	内容
大学病院	800	愛知	50	12	24	あり	重症
がんセンター	500	埼玉	50	12	24	なし	
大学病院	666	鹿児島	50	8	16	なし	
大学病院	613	静岡	50	12	24	あり	中・軽症
大学病院	850	千葉	50	5	10	あり	重症
その他	800	東京	50	12	24	あり	中・軽症
大学病院	1400	福岡	50	7	14	あり	重症
大学病院	800	和歌山	50	6	12	あり	中・軽症
大学病院	600	福島	54	11	20.37	あり	重症
大学病院	934	兵庫	58	10	17.24	あり	重症
大学病院	1000	京都	60	8	13.33	あり	重症
大学病院	720	広島	60	9	15	あり	重症
大学病院	1000	大阪	60	8	13.33	あり	重症
その他	800	東京	60	12	20	あり	重症
がんセンター	415	神奈川	65	12	18.46	なし	
大学病院	700	埼玉	70	14	20	あり	重症
大学病院	1200	東京	70	9	12.86	あり	重症
大学病院	1200	宮城	75	12	16	あり	重症
大学病院	845	熊本	75	10	13.33	なし	
がんセンター	615	静岡	79	16	20.25	あり	重症
大学病院	1000	愛知	80	12	15	あり	重症
大学病院	800	神奈川	90	13	14.44	あり	重症
がんセンター	500	愛知	100	12	12	なし	
大学病院	1000	大阪	100	15	15	あり	重症
がんセンター	500	大阪	110	20	18.18	なし	
大学病院	1000	大阪	115	27	23.48	あり	重症
大学病院	855	岡山	128	22	17.19	あり	中・軽症
がんセンター	686	東京	130	22	16.92	なし	
大学病院	900	東京	136	19	13.97	あり	重症
がんセンター	570	東京	160	31	19.38	あり	中・軽症
がんセンター	400	千葉	170	30	17.65	なし	

コロナ対応あり23施設

コロナ対応なし8施設

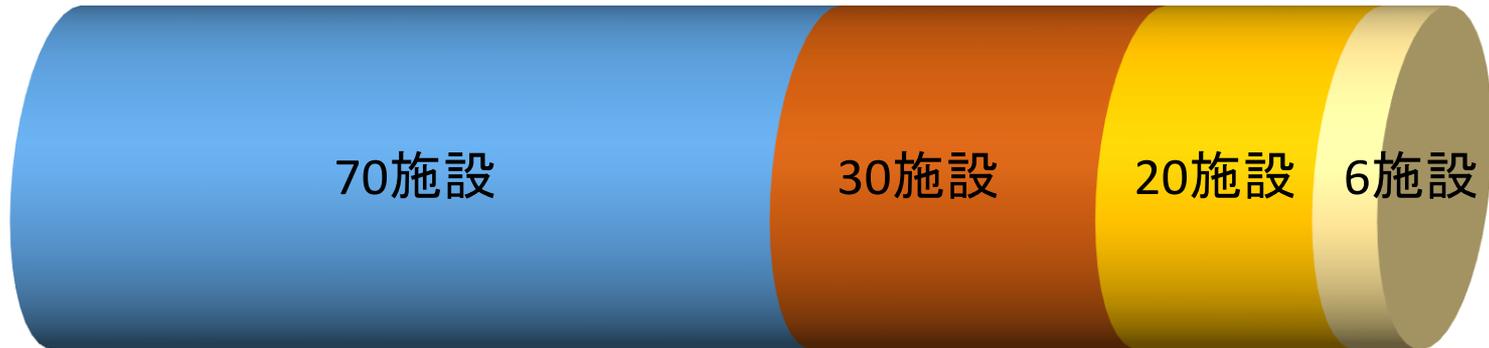


コロナ重症対応あり18施設



10%以上手術減 13施設(42%)

# 術前PCR検査



■ 施行せず ■ 全例施行 ■ 一部施行 ■ 未回答

コロナのリスクが高い症例  
(有症状・流行地居住などの疑い症例)  
High risk手術

# まとめ

- 癌手術の制限が16%(23施設)で、食道癌手術の制限が15%(19施設)で行われた。
- その主な理由は、ICU利用の制限、看護師の不足、手術枠の制限であった。
- 対応策として手術の延期、他院への紹介、術前化学療法の追加などが取られていた。
- 2020年3月4月の手術実績について、例年と比較して大きな減少は見られなかった。
- 3月4月の手術実績の減少は、大都市以外の地域および一部の感染拡大地域で認められた。
- ハイボリューム施設では、コロナ対応特に重症対応をしている施設で手術数が例年より減少している傾向にあった。
- 術前PCR検査(全例)は24%(30施設)で行われていた。

# 考察

- 食道癌手術は、人工呼吸器、ICU管理を必要とすることが多く、COVID-19感染の拡大により、制限を受けやすい手術である。多くの大学病院（特に地方）や一部の感染拡大地域では、COVID-19診療のために大部分の医療資源が割かれており、特に制限を受けている実態が明らかになった。2020年3月4月の実績では全体としての大きな減少は見られなかったが、食道癌の術前治療が約2か月を要することより、今後大きな影響が出てくる可能性がある。学会として慎重に経過を見てゆく必要がある。